

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床実習Ⅲ		必修	5	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t-mishina	火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	臨床実習協力病院において、臨床実習指導者のもとに理学療法評価を修得する。主に典型的な症例について、学内で学習した評価技法などを、指導者が実施している場面を見学する。またその一部を実際に行い、実習施設内の記録や他の職種の人々から情報収集などを行い、収集した情報を統合・解釈する過程について経験する。				
学習上の助言	解剖学、運動生理はもちろんのこと理学療法評価などこれまで学んできた科目全般の知識、技術が必要となるのでしっかりと復習しておくこと。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	症例を理学療法評価するために必要な情報を収集できる。			PT(1)、(3)、(4)	
②	症例を理学療法評価する上で必要な各種心身機能検査測定項目を選定し、実施できる。			PT(1)～(3)、(5)、(6)	
③	検査結果のデータを統合・解釈し問題因子の分析と抽出及び障害構造を説明できる。			PT(1)～(3)、(5)、(6)	
④	担当症例の理学療法評価過程をレジюмеにまとめ発表できる。			PT(1)～(3)、(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
<p>基本的に冬期休業期間中、学外実習協力施設にて 5 週間の実習を行う。実習計画の細部は配属された各施設により異なる。基本的には 1 週間目はクリニカルクラークシップにより業務に慣れ、2～3 週間目に対象症例の情報収集及び検査測定の実施、問題点点の抽出、考察の作成を行う。4 週間目以降に考察の検討及び必要に応じて再度情報収集を行い、5 週間目に可能であればリハビリテーションスタッフに対しレジюмеを作成した上で症例報告を行う。</p>					

学習課題・学習時間
<p>3 年後期に行われる OSCE (客観的臨床能力試験) を実習開始前段階における技能・態度評価の一部と解釈し、一定の基準に到達していない学生に対して適宜指導の機会を設ける。</p>
<p>必要時間 (単位: 時間): <u>75</u></p>

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	30	70	0	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	10	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	10	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	10	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	10	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	10	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		発表者だけでなく参加者全員の質疑応答の内容、態度、ディスカッションの充実度を評価する。				実習終了後の学内症例報告会にて講評する。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	実習への参加、医療従事者として節度ある対応、学科指定の提出物、学外実習評価表、および学内での成果発表の状況をふまえて総合的に評価する。				実習終了後の学内症例報告会にて講評する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎三科 貴博、高村 浩司、粕山 達也、関口 賢人、関根 聡美、玉木 徹、駒形 純也、遠藤 悠介、坂本 祐太、大塚 篤也 他</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 理学療法士として複数名の臨床実習指導の経験を有している。</p> <p>実践的授業の内容：臨床現場で使用される理学療法評価について、臨床経験に基づく視点から指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、3 年次終了までに履修することができる必修科目の単位を全て修得していなければ履修できない。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。最新のものをチェックするよう留意すること。</li> </ul>							